

(共同リリース)

2013年6月28日  
日本航空株式会社  
米国NPO法人コペルニク

## 「人をつなぐ、世界を結ぶ。プロジェクト」キックオフ ～JALとコペルニクは、協力して途上国の課題解決に貢献します。～

日本航空株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長 植木 義晴、以下「JAL」)とNPO法人コペルニク(本部:米国・ニューヨーク州、共同創設者兼CEO 中村 俊裕、以下「コペルニク」)は、途上国における環境や社会課題の解決に貢献するため、本日、共同で「人をつなぐ、世界を結ぶ。プロジェクト」をスタートしました。

JALは、2013年4月より、将来の世代によりよい社会を繋ぐことを目指し、日本の翼として航空輸送事業を通じて社会問題の解決に貢献するという新しいCSR方針の下、「日本と世界を結ぶ」「安全・安心」「次世代育成」「環境」の4つの分野を中心に、さまざまな取り組みを進めています。また、コペルニクは、2010年2月に設立された米国NPO法人で、途上国の社会課題と、世界各国のテクノロジーをインターネット上でマッチングさせ、広く寄付を募って、現地の適正価格で当該テクノロジーを届けることにより、途上国の生活の質の向上と貧困削減などの課題解決を図っています。



JALのCSR活動の方向性と、コペルニクが目指す「国と国をつなぎ」、「環境保全」、「途上国の衛生・健康状況の改善(安全・安心)」そして「子どもの生活改善・学習機会の拡大(次世代育成)」などの活動との親和性から、共同プロジェクト実施に至りました。この共同プロジェクトによって双方の活動の効果を高め、多角的なパートナーシップを構築するとともに、JALは、航空券の提供等により、コペルニクの活動を支援します。

「人をつなぐ、世界を結ぶ。プロジェクト」の概要は、以下のとおりです。

<p>日本のものづくり産業と地方を元気に 「JALテック・キャラバン」</p>	<p>日本各地のテクノロジー企業や大学などを訪問し、途上国が必要とする技術や商品を紹介し、途上国向けのテクノロジーを発掘します。日本のものづくりの技術を届けることで、日本の産業と地方経済を元気にするとともに、途上国の社会課題解決にも貢献します。</p>
<p>マイルで支援 「JALチャリティ・マイル」</p>	<p>JALマイレージバンク会員の皆さまにマイル寄付のご協力をお願いし、コペルニク・プロジェクトを支援します。今回は2013年7月1日～9月30日の間、「インドネシアの学校に浄水器を送ろう」チャリティ・マイルへのご協力をお願いします。</p>
<p>公募レポーターを現地に派遣 「JALテック・レポーター」</p>	<p>「JALチャリティ・マイル」で支援するコペルニク・プロジェクトが実施される現地にレポーターを派遣し、テクノロジーがどのように役に立っているのかをレポートします。</p>

JALとコペルニクは、人と人をつなぎ、日本と世界を結び、日本のものづくり産業を応援するとともに、途上国の社会課題の解決に貢献してまいります。

以上